

立命館大学グローバル COE プログラム「生存学」創成拠点
Global COE Program ars vivendi, Ritsumeikan University

生存学研究センター報告

「出生をめぐる倫理」

2009年10月下旬
発行予定!

人の誕生をめぐる諸問題について、社会との関わりに注目し、倫理的観点から検討した報告書

2008年度立命館大学グローバル COE プログラム「生存学」創成拠点・院生プロジェクト「出生をめぐる倫理研究会」メンバーが執筆担当

櫻井浩子・堀田義太郎 編

【目次】

- ・カトリックの教説から見る中絶問題 池端祐一郎
- ・「こうのとりのゆりかご」と婚外子・未婚母 吉田一史美
- ・「生きるに値しない生」とはどんな生か 野崎泰伸
- ・ポリオ生ワクチン獲得運動に見いだされる社会的な意義 西沢いづみ
- ・「痛み」への眼差し——血友病者をめぐる論点の構図 北村健太郎
- ・出生前選別批判の可能性と限界 堀田義太郎
- ・妊娠 22 週児の出生をめぐる倫理的問題 櫻井浩子



【発行元・問い合わせ】

立命館大学生存学研究センター

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

TEL : 075-465-8475 FAX : 075-465-8342

E-mail : ars-vive@st.ritsumeikan.ac.jp